



令和5年度長岡京市水防訓練

令和5年6月4日(日)9時30分から勝竜寺地内(小畑川・犬川合流付 近)で長岡京市水防訓練を実施しました。これから本格的に出水期を迎えるにあたり、各水防機関(消防団、消防署、市役所)が基本工法および応用工法の作成要領を主に訓練しました。



基本工法

●水防活動の基本となる土のう作りを実施。土のう袋に砂を詰めて作成します。土のうは1袋あたり約25kgの重さがあり、様々な水防工法で使用します。今回は合計500袋もの土のうを作成しました。

●作成した土のうを使用して、積み土のう工を作成。土のうを積んだ後、※蛸槌(たこつち)を使用し押し固め、最後に鉄ピンを打ち込み完成。



蛸 槌



積み土のう工完成

各種応用工法



●応用工法として杭打積土のう工・改良積土のう工・月の輪工を実施しました。他にも様々な状況に対応できるように多種多様な工法があります。

各種工法作成後、中小路市長らによる査閲を受け訓練終了となりました。



長岡京市消防団は様々な災害に想定して、各種訓練に励んでいます。これからも長岡京市の安心安全のため日々備えていきます。

